

# 私の工夫

「特別支援教育ナビゲーター」として、できることを考える

津山市立津山西中学校

指導教諭 前 真由美



## 1 はじめに

昨年度より、津山市「特別支援教育ナビゲーター（以下、「特支ナビ」と表記）」という役を担っている。「特支ナビ」は、津山市内の小学校27校、中学校8校の特別支援教育の充実を一層推進するために、「津山市特別支援教育推進センター」に2名（小・中各1名）が新規に加配配置された。「特支ナビ」の役割は（1）巡回相談等の実施、（2）研修への参画、（3）推進センター充実へ寄与、の三点だ。

特別支援教育の重鎮であるもう一人の「特支ナビ」から教わることも多く、新たな学びを重ねるあたりがたい毎日だ。しかし、この重

鎮と同じことをしようとしても、うまくいかないと感じていた。そこで、生徒に言っている「自分の強みを使ってやってみよう」と、取り組むことにした。

## 2 私の工夫

### 強みを使う

まず、自分の強みを考えてみた。①今までたくさん困って、たくさん助けてもらった経験があるので、困ったときの苦しさ、助けてもらおう安堵感がわかる。②「人が好きで、人の話を聞くのも好き。③通常の学級担任、国語科担当、教育相談担当、登校支援リーダー担当、特別支援教育コーディネーター（以下「特支C.O」と表記）、

通級指導教室担当、特別支援教育専門員等を務めてきたので、様々な立場の発想ができる。④津山市で長年勤めているので地域性がわかる。⑤③④から、校園の多くの先生、S.C、S.S.W、医療関係者、保健師、児童相談所、特別支援学校、津山市教育相談センター「鶴山塾」等に、つながりがある。

これらを使って「何か役に立てることはないですか」という気持ちで各校に向いている。

### 時間短縮を考える

学校現場は超多忙だ。そこで、時間短縮を念頭に置いて取り組んでいる。たとえば、多大な負担なくできそうな他校の取り組みを提案する、自作を含めて提供できる資料や文書の様式、教材教具をスツックし、だれでも使えるように発信する。また、連携時に、メールや電話で連絡を取り合う際、「ありがとうございました」等の挨拶は送り合えないと確認するなど、すぐに導入可能なことを提案している。

## 3 子どもたちのために

「子どもたちの誰もが、持てる力を発揮して、長い人生を豊かに過ごしていくこと」が願いだ。そのためには、周りの大人たちが子どもたちにどう関わっていくかが重要になる。関わる大人を支え、次の三つが実現できるようにすることを目指している。これらは全て、子どもたちに返っていくと思うからだ。①特支C.Oが年間の見通しを持って動ける。②子どもたちと接している先生方がやりがいを持って指導や支援ができる。③思い悩みながら子どもに向き合っている保護者がわが子の成長を喜べる。

## 4 取り組み例

### （1）巡回相談等の実施

- 特支C.Oを中心とした校内体制整備へ
- ・年間計画を提示
- ・校内研修・ケース会・校内特別支援委員会への参画

○適切な「学びの場」の決定に向けて

- ・教育支援委員会への参画
- ・小学5・6年生や保護者の見学



小学校通級指導教室親の会座談会



小学校6年生対象「中学校のことを聞こう」

相談会や面談に参画

・保護者対象教育相談に参画

○学級や個別の児童生徒への支援

・教材教具や資料の提示

・授業改革推進員と連携して特別

支援の視点を生かした授業への

助言

・学級経営や授業、進路指導への

助言

(2) 研修への参画

・保幼小中特支C○研修(年3

回)で年間連携スケジュールの

提示、進捗状況の確認【縦の連

携】

・中学校特支C○情報交換会を企



中学校特支Co.情報交換会

画、運営【横の連携】

(3) 推進センター充実へ寄与

・市教委との定期連絡会・センタ

ーミーティングへの参画

・通級の指導におけるICT活用

充実事業(県教委)との連動

5 おわりに

いつも自分に言い聞かせている。

当たり前のことが当たり前前にでき

るのは、普通ではない。もっと相

身のことも。もちろん自分自

手を尊重しよう。やってはいるし、

できてはいるが、疲れ果てている

かもしれない。できないことや失

敗を指摘するばかりでなく、当た

り前のことができてきていること、で

きなくてもやろうとしたことを認

めよう。まずは目の前の子ども

のことを。そして、隣で頑張ってい

特別支援教育委員会年間計画(例)			
月	校内支援(中学校)	小中連携	関連
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間活動計画作成</li> <li>・特別支援教育推進方針、特別支援学級運営方針の共通理解</li> <li>・生徒理解(職員会議)</li> <li>・新入生受け入れ準備(入学式リハールや教育相談など)</li> <li>・保護者からの情報収集と指導計画作成の確認(家庭訪問等)</li> <li>・個別の教育支援計画、指導計画の作成</li> <li>・通級による指導を受ける生徒の教育課程の確認</li> <li>・ケース会、教育相談、カンファレンス、合理的配慮に関する検討会(随時)</li> <li>・担当者会(定例)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の特支コーディネーターの把握</li> <li>・特別支援学級に入級する生徒・保護者対象。事前に知らせておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な環境調整と合理的配慮の確認</li> <li>・SC、SSW、関係機関への連絡</li> <li>・ヘルパーと支援の仕方を確認</li> <li>・通級指導教室担当者との連携(随時)</li> <li>・特別支援教育ナビゲーターとの連携(通年)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ生徒一覧表の作成</li> <li>・校内研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人・保護者の意向など、小学校と連絡を取り、確認しておく。</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育相談</li> <li>・個人調査票の記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校見学会(6年生・保護者・担任等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内教育支援委員会</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の評価と見直し</li> <li>・全校三者懇談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学までと入学後の見通しが立つように、小中で情報共有し、説明していく。通級指導教室の情報も伝えておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内教育支援委員会</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修</li> </ul>		
9月			
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路決定に係る希望懇談</li> </ul>		
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校見学会(5年生・保護者・担任等)</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の評価と見直し</li> <li>・全校三者懇談</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山市教育委員会の通知</li> <li>・校内教育支援委員会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学説明会時の顔合わせ、教育相談</li> <li>・新入生の教育相談(随時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校特支学級参観引継ぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象の保護者に、中学校相談窓口を伝えておいてもらう。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度教育課程編成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校通常の学級参観引継ぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内教育支援委員会</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度に向けての三者面談</li> <li>・個別の指導計画評価</li> <li>・今年度の成果と課題</li> <li>・今年度の校内支援体制検討、学級編成確認</li> <li>・新年度教室、教材教具の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特支学級入級予定の生徒・保護者事前面談</li> <li>・小中連絡会</li> <li>・小学校から個別の教育支援計画、個別の指導計画を引き継ぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学先に個別の教育支援計画、指導計画を引き継ぐ</li> <li>・登下校、授業・教材、興味関心・苦手・部活希望、進路希望、通院・服薬、等聞き取る。</li> </ul>

初回巡回相談資料(中学校用)

配付資料の作成